

令和7年度 調布市立北ノ台小学校 学校評価報告書（学校長 野口 直也）

学校の教育目標

○思いやりのある子ども ○よく考える子ども ○明るく元気な子ども

目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像

目指す学校像 【子どもたち一人一人を大切にできる学校】

- (1) 児童にとって 「よここびのある毎日」
 - ・友達と関わるよここび
 - ・学んで分かるよここび
 - ・自分の存在が認められるよここび
 - ・自分の成長が実感できるよここび
- (2) 保護者, 地域にとって 「安心して任せられるみんなの学校」
 - ・開かれた学校
 - ・安心できる学校
 - ・ふるさと北ノ台(人とのつながり)
- (3) 教職員にとって 「自己実現できる職場」
 - ・風通しのよい明るい職場
 - ・やりたいことができる職場
 - ・成長できる職場

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

	1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①主体的に考え、議論する道徳授業の実践をするとともに、いじめについて考える授業を全学級で各学期1回、年間で3回行う。	①週ごとの指導計画を作成、提出し、計画的に指導を行うとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。	①「自己指導能力」を身に付けさせるために、児童に自己選択、自己決定させる場を設ける。「みんなのきまり」は全教職員で共通理解を図り、挨拶や正しい言葉遣い等の習慣を身に付けさせる。
	②不登校児童の解消や新たな不登校を生まないために心の居場所づくりに努める。(児童の声にしっかり耳を傾ける。迅速で誠実な保護者対応をする。)	②年間9回の校内研究を通して、児童が主体的に学習に取り組めるよう「主体的・対話的で深い学び」となるよう、授業の工夫改善を行う。	②食育を充実させるとともに、スポーツフェスティバル、長なわとび・単なわとび週間等を行うことで、児童の健康や運動への興味関心を高め、楽しさや喜びを味わえるようにする。
	③学級活動やたてわり班活動等の特別活動を通して、児童に豊かなコミュニケーション力を身に付けさせる。	③「個別最適な学び・協働的な学び」を進めるために、一人1台モバイル端末の活用を含めて、ICTを効果的に学習に取り入れる。	③体育の授業で振り返りを重視し、児童が主体的に粘り強く課題解決に取り組めるようにする。全員外遊びを実施することで運動の日常化を図る。
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
	①児童アンケート「いじめをしないで仲良く」80%以上→94%、保護者アンケート「子供たちが安心して生活」80%以上→96%、職員評価「いじめ授業」80%以上→100%	①児童アンケート「授業の内容が分かる」80%以上→93%、保護者アンケート「分かりやすい授業」80%以上→97%、職員評価「計画的な指導」80点以上→97%	①児童アンケート「すすんで挨拶」80%以上→81%、保護者アンケート「すすんで挨拶」80%以上→84%、職員評価「みんなのきまり」80%以上→100%
②児童アンケート「先生に相談できる」80%以上→(CSにて項目変更)、保護者アンケート「子供たちが安心して生活」80%以上→97.3%、職員評価「不登校児童の居場所づくり」80%以上→91%	②児童アンケート「すすんで学習している」80%以上→81%、職員評価「授業の工夫」80%以上→94%、「児童の実態に応じた工夫・改善」80%以上→100%	①保護者アンケート「体力の向上や健康を保つための指導」80%以上→96%、職員評価「食育の充実」80%以上→97%、体力テストTスコア50以上→Tスコア49	
③児童アンケート「学校は楽しい」80%以上→91%、「友達と仲良くしている」80%→96%「保護者アンケート「お子さんは楽しく」80%以上→97%	③教員評価「ICT機器を授業に活用」80%以上→97%、職員評価「一人1台モバイル端末の積極的な活用」80%以上→94%	①児童アンケート「すすんで運動」80%以上→81%、職員評価「運動量を確保した授業」80%以上→89%職員評価「休み時間の外遊び」80%以上→90%	
学校運営協議会	・学校が楽しいと感じている児童が多いことはよい。少数派の児童の声もしっかり聴けるような手段や施策も必要。 ・学年の先生全員が児童のことを理解し、声をかけられる体制は、安心につながっている。不登校児童の解消や新たな不登校を生まないための居場所づくり(ステップルーム)など対応している。	・教科担任制、個別最適な学び、協働的な学び等、試行錯誤しながらも様々な取組を進めている。本を読まない児童へのアプローチが課題。読書環境づくり等、保護者の理解が深まるとよい。児童に対する意識付けも大切にしたい。	・スペースや時間等の制約が多い学校で測ることのできる体力を向上させることは難しいが、競う面白さや克服する喜び、思い切り体を動かす気持ちよさなどを意図的に味わわせる授業はもちろん行事や体験活動等の取り組みを続ける必要がある。

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

	4 保護者・地域との連携	5 ICT機器を活用した授業改善
自己評価	(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)
	① CSとして、地域学校協働本部を中心にしながら地域の教育力を活用する。	① ICTの活用場面を増やすことで、日常的な授業力の向上を目指す。
	② HPを年間100回以上更新する。学校・学年便り等を定期的に発行する。	②「個別最適な学び・協働的な学び」を促進するため一人1台モバイル端末を活用する。
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
① 保護者アンケート「地域と協力した教育活動」90%以上→95.6%	① 教員自己評価「ICTを活用した授業」80%以上→97.1%	① 教員自己評価「一人1台モバイル端末の積極的な活用」80%以上→94.3%
② 教員自己評価「学校の様子を定期的に保護者に伝える」90%以上→93.5%		
学校運営協議会	・学校HPの更新が早く、北ノ台小学校の様子がよく分かる。またCSとして保護者の授業支援体制(保護者ボランティア)も構築し、地域学校協働本部等、地域とのつながりも順調である。児童が地域の防災訓練で学習発表したり、地域のイベントで合唱や演奏を披露したり、作品展示をしたりする等の活動は、地域との連携をより強めていく。今後も続けて欲しい。	・ICTの活用が著しく児童も順応している。ICTツールを利用した授業や、児童とのコミュニケーションが、活用の定着につながっている。今後は、ICTリテラシーについても習得し、自分で答えを見つけるためにどのようなツールをどう使うか、ということ学ぶ必要がある。 ・ICT機器を活用した授業が多くの教室で見られ、活用の定着が伺える。

人材育成・組織運営

自己評価	○授業力の向上 ○校務分掌等の活性化 ○勤務規律の徹底 ○ワーク・ライフバランスの推進	・主任教諭を中心に、OJTを積極的に進めた。東京教師道場、研究発表会、模範授業などに多数の教員が参加して学ぶことができた。 ・校務分掌の枠組みの見直しを図り、公平化、効率化を進めている。今年度は5部会制に見直し、ICT部会の拡大を図った。 ・引き続き勤務事故を未然に防ぐための研修を複数回行い、勤務規律の徹底を図っている。また、風通しの良い職場を実現している。 ・何のための効率化なのか、生み出した時間を何に使うのか、一人一人の教職員が意識するようになった。
協議会	・研究授業や校内授業公開など、授業力向上に向け、多くの教員が積極的に取り組んでいると感じる。公務を効率化する取組も十分である。ワーク・ライフバランスの充実等、ICTや地域人材の活用等も含めて、教員が安心して児童と向き合うことのできる環境づくりに、引き続き積極的に取り組んでほしい。 ・特定の教科において優れた授業の実施が学校全体に広がっている様子が見て取れる。OJTの充実のためにも、様々な教科の優れた授業力を有する教員の配置が望まれる。	

中期的な経営目標の達成状況

1	・2年目の知的固定級「たんぼぼ学級」と通常学級の児童・教員が交流する場を増やすことで、特別支援教育の理解や学びを深めることができた。
2	・「主体的・対話的で深い学び」の授業改善については、自己調整学習を校内研究のテーマとして2年続けて取り組んだが、まだ改善が必要である。
3	・自己指導能力の育成に関して、発達支持的生徒指導を中心に据え「自己選択」「自己決定」を意識しての学習・生活指導が定着しつつある。
4	・コミュニティ・スクールとして、「ふるさと北ノ台」を合言葉に、今まで以上に地域素材・地域人材を生かしたシステム作りが着実に進んでいる。
5	・一人1台タブレット端末の効果的な活用については、ICT部会を中心としながら継続的にOJTを実施することができたが、依然として個人差がある。
人・組	・授業力の向上のために、OJTを活性化することができた。また、市内や他地区の研究授業などに参加し、授業力を高めようとする教員が増えた。

次年度の重点課題

・コミュニティ・スクールとしての組織の充実(北ノ台ふるさとプロジェクト)	・コミュニケーション力の向上	・他者意識の向上	・特別支援教育の浸透
・ステップルーム等の不登校対策	・校内研究、OJT等の充実による授業力の向上と学力向上	・図書教育の充実	・伝統の「あいさつ」
			・基礎体力の向上